

→ 滋賀大学へのご寄附のお願い

本学では『滋賀大学基金』を設置し、学生の教育・研究、国際交流、修学、課外活動支援、 データサイエンス教育研究の高度化など、滋賀大学を幅広く支えていただくご支援を お願いしています(税制上の優遇措置の対象です)。

皆さまの温かいご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

『滋賀大学基金』の種類

一般基金 ・学生の教育・研究や国際交流活動、彦根高商創立百周年記念事業、

ウクライナ支援募金など、大学全般に対する幅広いご支援

(以下、特定基金:特定目的へのご支援)

経済学部基金

修学支援事業基金 ・経済的な理由で修学が困難な学生に対するご支援

スポーツ・文化活動基金 ・学生の課外活動に係るご支援(特定の部活動への支援を指定可)

データサイエンス基金 ・データサイエンス教育研究の高度化に係るご支援

附属学校園いまを生きる基金・教育学部附属学校園の教育環境充実をはじめ、教育活動に係るご支援

・経済学部における教育研究活動に係るご支援

藤村泰子記念基金 ・障害児者の音楽教育・音楽活動に関するご支援

詳しくは寄附金ホームページをご覧ください。

https://www.shiga-u.ac.jp/kikin/

〈お問い合わせ先〉

滋賀大学基金室(広報課内)

〒522-8522 滋賀県彦根市馬場1丁目1番1号 TEL 0749-27-1004 FAX 0749-27-1129

E-mail kikin@biwako.shiga-u.ac.jp



滋賀大学広報誌 Vol.56

しかだい

[発行日] 2022年10月

「発 行」 国立大学法人 滋賀大学

[編 集] 滋賀大学広報部会

須齋 正幸(理事・副学長)

神部 純一(教育学部) 村田 透 (教育学部)

松田 有加(経済学部)

宮西 賢次(経済学部)

杉本 知之(データサイエンス学部)

西山 さよ(広報課)

滋賀大学広報課広報係

〒522-8522 彦根市馬場1丁目1番1号

TEL 0749-27-7524

E-mail koho@biwako.shiga-u.ac.jp



アンケートのお願い

「しがだい」のより充実した誌面づくりのために、 WEBアンケートのご協力をお願いいたします。



学生広報サポートチーム考案 カモンちゃんLINEスタンプ販売中!







日本の開国を主導した井伊直弼公をモチーフにした 滋賀大学公式キャラクター。名前は直弼公の官位、 掃部頭(かもんのかみ)に由来しています。滋賀大学に "come on"という意味も掛けられています。本学学生 が在学中に取り組み生み出されました。

SHIGA UNIVERSITY Public information magazine

しかたい

滋賀大学 広報誌

Vol. 2022.10





滋賀大学長 竹村 彰通

Profile

1952年生まれ。1976年東京大学 経済学部卒業、1978年東京大学 大学院経済学研究科理論経済学: 経済史学専門課程修士課程修了。 米国スタンフォード大学統計学部 客員助教授、米国パーデュー大学 統計学部客員助教授、東京大学経 済学部教授、東京大学大学院情報 理丁学系研究科教授を経て、2015 年5月滋賀大学に着任。2017年4月 から滋賀大学データサイエンス学 部長、2022年4月から現職。

学長メッセージ

デジタルの時代へ

デジタル環境を活かした教育の推進をめざして

滋賀大学は昨年「数理・データサイエンス・AI教育プロ グラム認定制度」への応募で、優れた取り組みとしてリテ ラシーレベル+(プラス)の認定を受けました。さらに、今年 の8月には同プログラムの応用基礎レベルに選定され、 特にデータサイエンス学部は実践的な取り組みを高く評 価され応用基礎レベル+(プラス)に認定されました。滋賀 大学は2017年に日本で初めてデータサイエンス学部を 開設しましたが、これらの認定では全学的かつ先導的な 数理・データサイエンス・AI教育が評価されました。数理・ データサイエンス・AIの素養はデジタルの時代で必要とさ れるものです。「デジタル敗戦」という言葉で表されるよう に、日本はデジタル化で出遅れている状況があり大学教育 でも対応が求められています。

デジタル化の一つの大きなきっかけとなったのは2年半 前の冬に突然始まった新型コロナウイルスの感染拡大です。 感染拡大当初は新型コロナウイルスについて多くの情報が 得られておらず、大学としても非常に慎重な対応をせざる を得ない状況となり、キャンパスへの立ち入りも制限され ました。その中でデジタル技術を活かしたオンライン授業 を活用することにより、教育を継続することができました。 その後、感染の急拡大とそれに対応する緊急事態宣言

などの感染対策が交互におこなわれ、感染の拡大と縮小 の波が繰り返され、今年のはじめは第6波という状況で した。春学期が始まる頃には第6波が一定の落ち着きを見 せていたため、この春学期の授業は基本的に対面でおこ なわれ、キャンパスはコロナ前と同様に学生たちで賑わい ました。今後も感染の波が繰り返すと思われますが、基本 的な感染対策をおこないつつ、本来のキャンパスでの生活 を大事にしたいと思っています。一方で、オンライン授業 にも、資料が見やすいなどの利点もあります。今後も滋賀 大学ではデジタル技術の利点を活かした教育を進めてい

次に、この2月に突然始まったロシアによるウクライナ 侵攻ですが、紛争は長期化の様相を示しています。ウクラ イナに対する継続的な支援が求められています。滋賀大学 でもさまざま支援活動をしてきましたが、この7月には2名 のウクライナの学生が留学生として滋賀大学に到着しま した。オンラインでのプロジェクトがきっかけとなり滋賀 大学への留学につながりました。コロナ禍の中で外国と の行き来が制限される中、遠いウクライナから滋賀大学に 来ることのできた学生達ですので、キャンパスでの出会い を大切にしていきたいと思います。



今年度より、全学部必修 数理・データサイエンス・AI教育プログラム

データを学び、社会に活かす

デジタル技術を駆使することで、社会や人びとの暮らしをより豊かする人材育成を行う滋賀大学。 今年度から、文部科学省が認定する「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の履修が全学部で必修に。 新たな学びの分野はどんな内容なのでしょうか。担当教員や授業を受けた学生に話を聞きました。

※取材では撮影時のみマスクをはずしています。







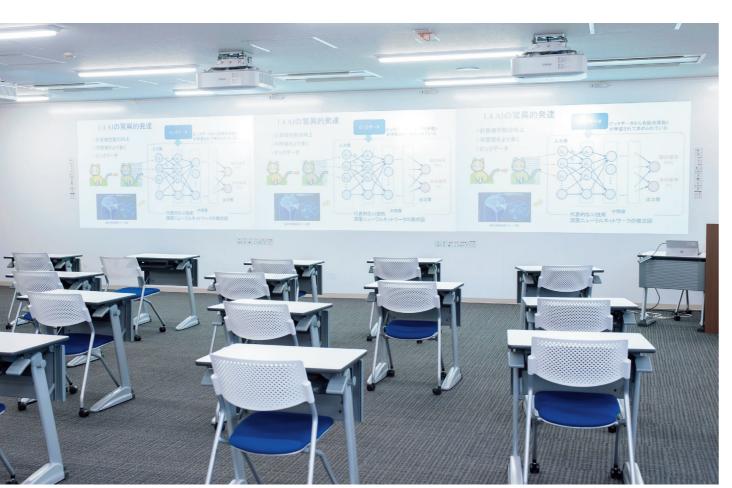






①全学部が選定された文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)プラス」のロゴ (認定期限:令和8年3月31日) ②教育学部・経済学部が認定された「同プログラム(応用基礎レベル)」のロゴ (認定期限:令和9年3月31日)

③データサイエンス学部が選定された「同プログラム(応用基礎レベル)プラス」のロゴ (認定期限:令和9年3月31日)



彦根キャンパス Future Class Room

Interview

文理、分野を問わずに活躍できる データサイエンス人材の輩出をめざす

市川 治 教授 データサイエンス学部

2018年に滋賀大学に着任、2021年4月よりデータサイエンス学部副学部長。 滋賀大学数理・データサイエンス・AI教育推進部会部会長。専門は音声データ処理、テキスト処理。



データサイエンス教育の 全学導入を学部創設時から想定

世界的にデジタル化、DX(デジタルトランスフォーメション)化が進み、社会転換が加速している今、データから新たな価値を創出できる人材の育成が急務となっています。そのため、文部科学省では2020年、全国の高等教育における「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」認定制度を設定しました。

滋賀大学は2017年、日本初のデータサイエンス学部を創設。その時から全学での数理的思考やデータ分析・活用能力養成の導入を見据え、2020年度から教育学部、経済学部でもデータサイエンスの授業を行ってきました。その先駆的かつ独創的な教育内容と実績が認められ、同プログラム(リテラシーレベル)の「+(プラス)」に選定されました。

今年度からは全学部においてデータサイエンス科目を必修化。まず基礎として学ぶ「リテラシーレベル」の科目として、教育学部、経済学部が「データサイエンス・AIへの招待」、データサイエンス学部は「データサイエンス入門」を履修。データサイエンスの重要性や価値、必要なスキル、知識などを習得します。

従来の工学系の学部では、物理的な法則を学習してそれを数理的なモデルに定式化することが主でした。しかし時代、社会が変化し、あらゆる課題解決を図るにはデータを可視化、実用化することが今やです。しかも、データサイエンスにおいて取り扱うビッグデータにアプローチして知見を得るには、ビッグデータの多次元な世界を見知り、多様な活用に慣れることが必要。そのため、教育学部、経済学部もデータ分析・解析の基礎的なスキル、知識の習得を到達目標にしています。

データサイエンスの実践演習、企業での実務の拡大も視野に

「リテラシーレベル」修了後は、「応用基礎レベル」という、より専門的な選択履修のカリキュラムを全学部で展開。これも文部科学省が定める「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)」に沿ったもので、2022年8月に教育学部、経済学部の学びの体系は同プログラム(応用基礎レベル)として認定され、さらに先導的で独自の工夫・特色を有するとして、データサイエンス学部は同プログラム(応用基礎レベル)の「+(プラス)」に選定されました。応用基礎レベルでは、AI、データサイエンス、応用基礎レベルでは、AI、データサイエンス、

データエンジニアリングにおいて、活用できるまでの知見の習得が求められるため、学部ごとにカリキュラムを設定しました。経済学部では以前より副専攻としてデータサイエンス学部の授業を履修できる点を活かし、より高度で経済分野に特化したデータサイエンスの実用的な授業を展開していきます。教育学部は教育データサイエンティスト養成プログラムがあり、学校ICT教育への対応や教育データの分析、数学・情報の教員免許状取得の必須科目との一体化も図っていきます。

データサイエンス学部は応用基礎レベルの科目は必修です。さらに、多数の企業連携を活用し、実データでの実践演習、PBL(課題解決型学習)をプログラムにセットしていることも独自性の一つ。連携企業へのインターンシップなどで実務経験を重ねられるのも魅力で、その機会の全学拡張も構想しています。

今、社会のあらゆる領域で求められ、その リテラシーや知見がなければ活躍が難しい といっても過言ではないデータサイエンス の素養。だからこそ、学生が自らの専門分野 で直面する課題解決に対して有効にデータ を活用できる能力習得をめざしているの です。これらの知識が学生一人ひとりの人生 に役立つことは言うまでもないでしょう。



データサイエンス・AIイノベーション研究推進センターを整備

国内初のデータサイエンス教育研究拠点として、2016年に誕生した「データサイエンス教育研究センター」の機能拡充、高度化を図り、今年4月、「データサイエンス・AIイノベーション研究推進センター」に整備、活動を始動しました。

旧センターが取り組んできた企業や自治体との連携、共同研究プロジェクトをこれまで以上に 推進。データサイエンス学部だけでなく、経済学部、教育学部の高度な知見を集約し、実社会の 課題解決や新たな価値創出、教育基盤の充実、高度専門人材の育成を全学部でめざします。

O3 SHIGA UNIVERSITY

Public information magazine 04

「滋賀大学数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の学びとは

全学必修 リテラシーレベル ◆◆◆

経済学部・教育学部 データサイエンス・AIへの招待

データ収集から分析、結果の活用まで基礎を知る

あらゆる場面でデータが収集、活用される 現代社会において最低限求められるデータ サイエンス(DS)・AIに関するリテラシー を身につけることが目的です。同時に、今後 データを分析する必要に迫られた際に、よ り深く学ぶきっかけとなることをめざして います。授業ではデータの収集・加工・処 理、データの分析、分析結果の解釈とその 活用というDSの3要素について、多様な応 用事例を交えて学びます。授業後半には、 データ分析によく用いられるプログラミン グ言語「Python」や「R」の基礎も解説します。また、DS・AIの限界やデータを扱う際に注意すべき点についても取り扱います。皆さんの興味のある分野にどのような形でDS・AIが関わっているかを調べ、また実践してみるといいと思います。スポーツが好きな方はその競技の試合や選手の成績を、YouTubeが好きな方は各動画の再生数などを分析してみると、自然と苦手意識も和らぐのではないかと思います。





岩山 幸治 准教授 データサイエンス学部 ●非線形時系列解析 ●バイオインフォマティクス

【教員から】リテラシーを身につけると同時に、DS・AIに興味を持ってもらうことをめざしています。当該分野になじみがない学生も多いため、授業ではイメージをつかめるよう、定義のほか、数式や具体例を交えて、また図を使って直感的に、同じ内容をさまざまなアプローチで説明するよう心がけています。



米山 竜也 経済学部 勝山高校(岡山県)

データサイエンスの基礎、それを用いた応用事例などを学ぶことができ、非常に有意義な授業です。私にとって難しそうと感じていた「Python」や「R」などのプログラミングも、その便利さを実感しました。今後は、身近なデータの分析がしっかりできるくらいに、データサイエンスの知識や技術を身につけたいです。

各学部の専門性に応じた選択履修 応用基礎レベル ◆◆◆◆

データサイエンス学部 AI・情報倫理

専門家から学ぶデータ活用の社会的ルール

して、関係する法律分野の事例とビジネス 現場の双方から、扱う情報に関して守るべきモラルやルールについて学びます。 AIを活用することを含めて、データサイエ ンス分野においては、データから価値創造 することが重要であり、そのためにデータ の入手方法、データの利用方法が社会に 受け入れられなければ、この分野は発展し ていきません。そのため、社会に受け入れ

られる基準としての「倫理」について、関連

行政と医療などさまざまな分野の統計、そ

する法律も参照しながら、考えていきます。 授業は私や学内教員のほか、専門分野の 講師を学外からも招いて行います。例えば、 AI情報倫理に関連して、経済学部の先生 からは民法や不正競争防止法などの法律 に関連した内容を。法律実務については最 前線で活躍されている弁護士の方や弁理士 の方の授業を6回にわたって設けています。 AIに関する原則・ガイドラインの最近の動 向や、AIの公平性や信頼性、説明可能性に ついても概要を紹介します。





佐藤 正昭 教授 データサイエンス学部 ●統計調査 ●社会・経済統計



田代 紗彩耶 データサイエンス学部 福岡工業大学附属城東高校(福岡県)

この授業の魅力は、データや情報の取り扱い方について実際に専門的な知識をお持ちの講師の方々から学べることだと思います。特に弁護士・弁理士の方の授業では、データサイエンティストとして活動するうえで関わってくる法律を、具体的な事例を交えながら教えていただき、非常に勉強になりました。

【教員から】 われわれの生活で重要な、医療を含むさまざまな分野に焦点を当てた倫理に関する授業から、学生たちが最新の知識を能動的に吸収していると感じます。この分野に関する倫理の考え方は、日々変化するため、常にフォローアップすることも必要です。

経済学部・教育学部の特別プログラム ーリテラシーレベル、応用基礎レベルの先をめざすー

データサイエンス学部と連携した発展的プログラム ◆◆◆◆◆

経済学部 政策-ビジネス革新創出人材プログラム

政策や企業の課題に科学的にアプローチできる人材に

データサイエンス (DS) 学部を有する強みを活かし、2017年、当学部の設置とともに政策や企業戦略等課題に対して数理的な分析に基づき、科学的にアプローチできる能力を持った人材育成を目的としてプログラムが設置されました。

このプログラムのベースには、「経済・ビジネス×DS=新しい価値創造」という考えがあります。そのため、1回生と2回生の春学期は幅広い教養と経済・経営などの専門教育の基礎知識(コア科目等)を習得すると

ともに、DS基礎科目や価値創造基礎科目を 学びます。2回生秋学期からは経済学部の 専門科目と、価値創造応用科目やDS学部 の専門科目を学ぶことで、経済・ビジネス などの専門知識とDSスキルを併せ持った ビジネス・データサイエンティストを育成 するプログラムになっています。

本プログラムを修了した卒業者は現在のところ7名。それぞれ近畿地方整備局や情報IT関連企業に就職しています。





金 秉基 教授 経済学部 副学部長

●経済開発●貧困削減●開発援助●開発途上国

【教員から】 社会情勢の流れを受けて、学生のなかでもDSへの関心が高まり、本プログラムの履修希望者は年々増加しています。また来年度からは、本プログラムを質・量ともに拡充させた「データサイエンス・コース」として展開予定。さらに履修希望者は大きく増加するのではないかと予測しています。



傍士 智貴 経済学部 土佐高校(高知県)

統計学をマーケティングに役立てることに関心があり、参加しました。難易度に不安はありましたが、授業で基礎的な統計知識が身についていることが実感でき、励みになっています。自分の掲げる目標に合わせて履修できることも魅力。経済の分析で応用できる場面が多く キャリアを決めるうえで不可欠になっています。

データサイエンス学部と連携した発展的プログラム ◆◆◆◆◆

教育学部 教育データサイエンティスト 養成プログラム

ICTを活用し、個々人に適した指導ができる教師を育成

Society5.0が到来する中で、デジタル技術を有する人材の育成が求められています。2020年度から小学校においてプログラミング教育が必修化され、今後、中学校や高等学校でもプログラミング教育や数理・データサイエンス・AI教育の展開が予想されます。そのため、これらを教育現場で教えることができ、また教育に関するデータ分析によって、個々の児童・生徒に適した指導や教材の改善ができる新しいタイプの教師が社会で求められています。

こうした流れの中、本プログラムはデータサイエンス教育が全学的にスタートした2020年度から実施。教員免許状取得のためのカリキュラムに加えて、教育データサイエンス、統計学関連、情報学関連、実習という4領域(7科目)の専門知識を教育と関連させて学び、社会で求められる教員育成をめざします。教育データサイエンス領域の一部は、データサイエンス学部の教員が担当しているため、より専門的に学ぶことができるのが特徴です。

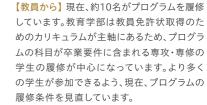


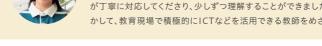


松丸 真大 教授教育学部 副学部長

●日本語 ●方言 ●文法 ●確認要求的表現

寺嶋 麻里 教育学部 光泉高校(滋賀県)
「Society5.0に向けた取り組み」という内容に関心を抱き受講を決めました。科目名を見て、はじめは文系の私に理解できる内容か不安でしたが、質問などに先生方が丁寧に対応してくださり、少しずつ理解することができました。これらの学びを活かして、教育現場で積極的にICTなどを活用できる教師をめざしたいと思います。





O5 SHIGA UNIVERSITY

Public information magazine 06

着手娜霓鷺が

思うコト Q&A

滋賀大学では、3つの学部や附属機関で 多く研究が行われています。

今回は、これからを担う若手研究者をクローズアップ。 専門領域のことや、滋賀での楽しみをお聞きしました。

先生に3つの質問

Q 先生の<mark>研究</mark>を 1 教えてください

Q 専門領域に進んだ 2 <mark>きっかけ</mark>を教えてください

Q 滋賀をどのように 3 <mark>満喫</mark>していますか?

産業界や地域に滋賀大の"知"を

滋賀大学は「知の拠点」として産業界や地域など社会への 貢献が重要と考え、産学公連携に力を入れています。産学 公連携推進の本部である産学公連携推進機構を中心に、 全学協働体制でさまざまな分野の企業や自治体・政府機 関との連携協定を結ぶなど、今回紹介した若手研究者を 含む研究者や事務部門が組織的に連携活動を実施し、 本学が持つ「知」を社会実装し、社会的価値の創出と社会 課題解決に貢献しています。



■企業、自治体等との連携による共同研究等の外部資金受入状況



来嶋 秀治 教授(データサイエンス学部)

2022年4月本学着任/広島県出身 専門領域 ●理論計算機科学 ●オペレーションズ・リサーチ

A1 問題解決に導くアルゴリズムを追求

アルゴリズムの研究をしています。アルゴリズムとは計算方法のことです。「"高性能のコンピュータがあれば、なんでも計算できる"という訳ではなさそうだ」というのが、数学の有名な未解決問題「P not NP予想」をかなり簡単に説明したものになります。ところが現実には、実際に解くべき問題があり、なんとか計算しなければなりません。問題固有の数理構造を見つけ、なんとかうまく解く、そんな研究をしています。

A2 きっかけは恐竜が登場するあの小説

高校生の頃、映画でも有名なマイケル・クライトンの『ジュラシック・パーク』の本の挿絵で、登場人物のイアン・マルコムという架空の数学者が語るフラクタル(※)に興味をもちました。大学ではカオス理論で有名な先生のいらっしゃった数理工学に進学しましたが、授業を受けるうち、自分は動くものが好きなんだなと思うに至り、アルゴリズム研究の道に進みました。巡り巡って、現在はカオスの計算に関する研究も進めています。

※図形の一部と全体に相似性がある幾何学構造のこと

A3 豊かな自然を満喫したいです

十数年前に京都に住んでいました。今春、福岡から彦根に移ってきて、 久しぶりに関西の雰囲気を感じています。彦根はお城を中心にコンパ クトにまとまったきれいな街だと思います。また観光誘致の非常に優 れた戦略も見て取れ、いたく感心しております。琵琶湖に周囲の山々に と自然にも恵まれているので、山登りをしてみたいです。

私のSDGs

限られたモノやエネルギーを効率的に使うことが求められる時代になりました。例えば輸送のシーンでは、巡回ルートや距離などが最適化されることで、エネルギーを削減でき、作業時間も短縮できます。 アルゴリズムによってこれらの解を導くことで、世の中の無駄を最小化する一助になればと思っています。



藤村 祐子 准教授(教育学部)

2012年10月本学着任/京都府出身 専門領域 ●教育行政 ●教育制度 ●教師教育

A1 学校教員の成長過程などを国際比較

学校の教員の力量形成についての国際比較研究をしています。諸外国で学校教員はどのような役割を担っているのか、それと比べて、日本の教員はどのような特徴があるのか。また、教員はどのような時に成長することができ、それを促す仕掛けは何か、他国ではどのような仕組みを作っているのかといった、日本以外の国の考え方や取り組みと比較し、日本の教員や学校について研究しています。

A2 指導教員の講義で新たな視点を得ました

いろいろな人との出会いがあって、この道に進んでいると思います。一番大きな影響を受けたのは、学部時代の指導教員です。ものすごい知識量とマシンガントークで展開される「講義」を受け、私が持っていた教育に関する朧げな情報が、クリアに再構築されていく感覚を味わい、その感覚に魅了されました。もともと、学校教育に興味を持っていましたが、教育行政や教育制度という視点から、学校や教員を「見る」ことの楽しさを知ったことがきっかけです。

A3 いつかはびわ湖マラソンに挑戦を

身体を動かすことが好きで、毎日ランニングをしています。夏は、汗だくになりながら走っていますが、走り終わった時の達成感が好きです。 いつか、びわ湖マラソンに挑戦したいと思っています。

私のSDGs

子どもたちに充実した教育を確保するためには、そのベースとなる 教育行政、そして子どもたちを指導する教員の力、そして成長は欠か せません。日本と他国の学校教員の役割や特徴を研究していますが、 国際比較によって、日本の教育の良さを解明するとともに、各国から 学べる部分を掲示できるようになれればと思っています。



松下 京平 教授(経済学部)

2009年4月本学着任/兵庫県出身 専門領域 ●環境経済学 ●農業経済学

A1 環境と私たちの生活の規則性とは?

専門は環境経済学です。経済学は、さまざまな状況下における人の行動の定式化を得意とする学問です。この手法を用いて、「なぜ人は自身にとって大切な自然を酷使し、また十分には守ろうとしないのか?」について考えたり、その解決策を講じたりしています。主な研究領域は、気候変動や人為的開発圧などに対して自然システムがどれだけ状態保持できるか、陸域と海域のつながりにおける社会的重要性の評価です。

A2 可視化できるおもしろさに開眼

学部生時代に環境経済学系の授業をたまたま履修したのが転換点だったと思います。それまでは、「大学院に行って〜、何か勉強して〜」くらいしか考えておらず、経済学の「け」の字も知りませんでした。ですが、経済学を駆使すると、無形である自然の恵みを可視化したり、うまく自然と付き合うための政策提言などを行ったりと、「そんなことができるんだ」という驚きを授業で受け、この学問を深く勉強したいと思った次第です。

A3 琵琶湖の恵みを食とアクティビティで

滋賀には滋味に溢れる食材がたくさんありますが、とりわけ湖魚の佃煮にハマっています。特に5月頃からシーズンを迎える若鮎の甘露煮は季節を感じさせる逸品として我が家の定番。白ごはんが何杯でもいけます。学生さんにも在学中にぜひ味わってもらいたいです。そして、挑戦したいことは「ビワイチ」ことびわ湖一周サイクリングです。体が動くうちに試してみたいです。自転車に詳しい人、ノウハウを教えてください。

私のSDGs

飢餓の撲滅は世界的課題です。その解決策として、土地を切り拓き、水を惜しげなく投入し、機械化を進める農法は効果的かもしれません。ですが、それに伴う水問題や炭素排出はどうでしょうか。包括的視点から社会にとって「よりよき状態」とは何かを念頭に、世界における食料生産、効率的水利用、炭素削減のあり方を研究しています。

07 SHIGA UNIVERSITY 08

派— ト競技

いう気持ちで、全力で練習に取り 組んできました。また昨年10月か ら主将を務め、部としても勝てる チーム、強い滋賀大をめざしてき ました。今年、男子舵手付きフォア で出場し、朝日レガッタで3位入賞、 48年ぶりにメダル獲得。関西選手 権では優勝。同大会においての優 勝も30年近くありませんでした。 同じ艇の5名をまとめ、勝利への 課題を考えて練習に取り組んだ結 果、1位でゴールするのは気持ちが

主将として課題を考え

入部を決めました。

新しいことへの挑戦

漕艇部の主将として、部の最終目

標である日本一をめざして日々練

習に取り組んでいます。僕自身は

中高と吹奏楽部に所属し、ボート

競技は初心者からの挑戦。高校時

代も関西大会初出場を果たすなど

全力で取り組んできました。新しい

ことへ挑戦し、これまでのように

全力で競技に打ち込みたいと思い

3年間は上級生を追い越す気持ち



吹奏楽からボートへ

良いものでした。今後もボートで の経験を活かし、何事にも全力で

勝てるチームづくりを

で必死についていき、試合にも多 く出させていただきましたが、思う ような結果が残せませんでした。 そのため、練習はつらいこともあり ましたが、今年こそは結果を残すと



練習を重ねて48年ぶりにメダル獲得

経済学部

近藤 優太郎 加古川東高校(兵庫県)

研究開発を進めて ロボットと自然な会話を

できました。

しがだい

My challenge

大学院進学

退学を考えた時期を経て

大学に入学後、慣れない環境と授

業の難しさから気がつけば留年が

決まっていました。もう大学を辞め

ようかとも悩んでいた時に、現在 参加しているゼミの教授から声を

かけていただき、心機一転。ゼミで

発表される先輩たちの研究の数々 に「自分も同じ世界に立ちたい」と 強く感じ、大学院の進学を決心しま した。大学院の試験には、TOEIC の得点と、2つの資格に合格する 必要がありました。当時、自分は

そんな資格を持ち合わせておらず、

すら勉強に励みました。その結果、

学びの意欲を取り戻す

学業や課外活動のほか、さまざまなシーンで

自身の可能性を切り拓く学生の声をお届けします。

Challenge

自分がこれだけの勉強ができたの は、教授やゼミの仲間が勉強、研究 の楽しさ、大切さを教えてくれた からだと思っています。私は現在、 大学に設置してあるPepperが人 とより便利に会話できるための研 究開発を行っています。彼がどの ような質問を受けても答えられる よう、会話に必要な対話構造を開 発することが目標です。この研究を 通して成果を得ることはもちろん、 研究の楽しさを後輩に伝えられる



進学を決心してから半年間、ひた 大学院には成績優秀者として奨学 金をもらえるほどの好成績で合格 ように尽力していきたいと思います。 成果を出し、 追求する楽しさを伝えたい データサイエンス学部 間宮 壮太 関高校(岐阜県)

My challenge

数員免許と学生委員会

美術の課題作品に 授業時間以外も没頭中

中学生でデッサンの楽しさに気づ き、自分でも美術作品の制作に挑 戦したいと、高校生活を通して美 術について真剣に学んできました。 その中で、美術と教育の関係につ いて興味を持ち、今は中学校美術 科の免許状取得をめざして学んで います。豊かな発想や学習の支援 に必要な技術を身につけるため、 課題制作に授業時間外でも取り



など、今の自分に必要な力を意識 して培うようにしています。高校時 代とは学ぶ環境が異なり、その差 に悩むことがありますが、試行錯誤 を重ね、理想とする教師像に近づ けるよう努力をしています。

困難にもあきらめず これからも取り組みたい

学生委員会の委員長としても活動 し、さまざまな企画の立案や実行 に携わっています。団体の運営の 組み、自主的な制作に力を入れる 難しさや、計画を実行する大変さ など壁にぶつかることはあります が、沢山の方からの助言や、どん なことでもあきらめず取り組んだ 経験を活かし、仲間とともにその 壁を乗り越えたことが今の自分の 糧になっています。何かに挑戦す ることは自分の弱さに直面するこ とでもありますが、これからも力を 尽くして取り組んでいきたいです。



美術教師をめざす一方で委員会運営も

教育学部

福田 渓華 栗東高校(滋賀県)

データとボランティアで防災に貢献を データサイエンス学部 馬場 千瑳 彦根東高校(滋賀県)

My challenge

防災數管

災害や防災の知識を 講義外に自主的に学ぶ

防災教育に興味があり、データサ イエンスが向いていそうだという 直感と、特別講師として防災の先 生がおられるということで本学に 入学しました。プログラミングや 結果の評価には授業での学びが 活かせますが、災害や防災に関す る知識はゼミや自学で身につける 必要があります。そのため2回生 の頃から先輩にお話を伺ったり、 ゼミに参加させていただいたりし



て講義外で学んでいました。データ サイエンスによってソフト対策に 貢献し、人々の命を守る行動につ ながればと考えています。現在は ゼミで、彦根市内の小学校を避難 所とした際に、水害時の避難経路 が適切か、より安全な避難経路と 避難所の分析を行っています。

地震被害の救援のため 東北でボランティア

学外ではNPO法人国際ボラン ティア学生協会に所属して活動を 行っています。今春には3月の福島 県沖地震によって被害を受けられ たお宅で救援活動を行いました。 現地の方々と交流できることにも やりがいを感じています。ほか、清 掃活動や地域のイベント運営に携 わるなどさまざまな活動を行って おり、全国のニーズの達成に貢献 したいと思います。

いつかは全国大会に出られるように 経済学部

丹羽 奈々子 膳所高校(滋賀県)

クイズサークルの運営

SNSを通じて サークルを立ち上げ

幼い頃から新しいことを学ぶのが 好きで、中でもクイズは楽しみなが ら知識を身につけられるので好き でした。それまではただ見ている だけでしたが、高校生の時に同級 生がクイズで活躍している姿を見 て、「大学では私もクイズをやりた い」と思うようになりました。しか し、滋賀大学にはクイズをする団 体がなかったので、今年度、SNSを 通じて集まった数名でクイズサー クルを立ち上げました。

みんなの意見を聞いて ゼロから関係性を構築

今まで団体の設立・運営は経験し たことがなく、何から始めていいか わかりませんでした。特に、活動の 動機や目標の違うメンバーをまと

めるのが一番大変だと感じました。 そのため、みんなが納得できるよう に、意見を聞いて整理し、この団体 に求めていることを考えるように しました。さまざまな規則や活動 内容を一から決めるのは大変でし たが、とても貴重な経験となりま した。まだまだ手探り状態ですが、 仲間に助けてもらいながら運営 を行い、今は集まった14名のメン バーと和気藹々と活動しています。 いずれは大会に出場できるように、 切磋琢磨しながら知識を積み上げ ていきたいです。



My challenge

留学とインターンシップ

目標に向かって 部活とゼミも全力で

た影響で、異文化との出会いに思 い入れがありました。そのため、大 学在学中に留学と海外インターン シップの挑戦を目標に設定しまし た。3回生までは女子バスケット ボール部の主将と、欧米のビジネ ススクールに匹敵する宮西ゼミ の勉学に全力で取り組みました。 そして留学予定だった昨年、コロナ NYに渡航しました。留学後、現地



非常に苦労しましたが、広告マーケ ティング企業で、大規模アニメイ ベントの出展を担当させていただ 幼少期、上海で4年間暮らしてい きました。留学とインターンシップ という2つの目標を達成し、帰国 することができました。

インターンシップから 将来の方向性を再確認

「美しい盆栽になるな、傷だらけの 大木になれ」。これはゼミの教授か らの言葉です。就職活動中にこれ 禍にも挫けずに、1年間休学して までを振り返り、迷ったときは面 白さを求めて厳しい道を選び、傷 でのインターンシップの確保にはついては立ち上がる、そんな人間 だと再確認しました。NYでのイン ターンシップをきっかけに広告会 社を受けることを決意し、第一志 望の株式会社電通から内々定を いただきました。「彦根から世界へ」。 グローバルに躍進する先輩方に 追いつけるよう、挑戦を続けます。



広告の世界でグローバルに活躍したい

経済学部

木下 怜香 九州国際大学付属高校(福岡県)

My challenge

音樂活動

コンテストで最優秀賞! CDリリースも

高校時代の友人と「ゴリラ祭ーズ」 というバンドを結成し、2020年に 三菱地所とニッポン放送が主催す る「有楽町うたつくり計画」という 楽曲コンテストで最優秀賞を受賞 したほか、CDリリースやラジオの ジングル制作など、活動の幅を広 げています。最近ではKBS京都か ら70周年記念テーマソングの制 作依頼をいただき、「KBS京都の うた」という楽曲を制作。リスナー はじめは趣味のような形で始めた



の方からのフレーズや想いをもと に歌詞を作る企画でしたが、たくさ んの人の想いを汲み取りつつ歌詞 に仕上げるのは非常に難しく、し かしとてもやりがいのある作業で した。レコーディングでも、自分の イメージをどう伝えたらいいのか 試行錯誤しながらも、すばらしい 楽曲に仕上げることができました。

貴重な経験を積んで さらなる発展を

バンドでしたが、気づけば関わる 人の数も増えていき、人と交流す ることの難しさやすばらしさ、出会 いの大切さを実感することが多く なりました。今後もさまざまな方の 助けを借りながら、発展をめざし たいです。……というわけでこの文 章を読んでくださったのも何かの ご縁。お仕事お待ちしております。



人と人をつなぐ音楽の力を体感

教育学部

古賀 礼人 石山高校(滋賀県)

輝く卒業生たち

三井物産株式会社

梅村 隆司さん

Profile

滋賀県出身。学費面を含む自立をめざして休学、社会経験を積んで復学。2020年3月滋賀大学経済学部社会システム学科夜間主コース卒業。同年4月三井物産株式会社入社、デジタル総合戦略部ユーザーエクスペリエンス改革室配属、2022年5月よりデジタル総合戦略部DX第一室所属。データサイエンスとファイナンスの知見を活かし活躍中。

多様な経験から見つけた自分が輝ける場 目標は世界の人びとの豊かな暮らし

大学卒業の 意義を改めて実感

現役で滋賀大学に進学しましたが、経済を学ぶには、自らの視野を広げてからの方が良いのではと考え休学し、全国各地で多種多様な仕事に就きました。さらに実社会で経験を積むために、復学できることを確認のうえ、学則をふまえて一旦退学したのですがまったく採用されず、大学中退という立場に対する社会の厳しさに直面。事業の意思決定ができる仕事に就き、経済や労働環境の底上げに貢献しようと決意し、滋賀大学に再入学しました。

自力で考察、実装した 持続可能な取り組み

大学生活に戻ってからは貪欲に学び、結果、成績優秀者として表彰を受けることに。 宮西賢次先生のゼミでは、財務諸表分析 や企業価値手法などを学修。数理的知見 と分析力が深まると共に、ロジカルとクリ ティカルの双方からの考察力や折衝力な どが養われました。また、それまではビジネスでの利益追求と還元に目を向けてい たのですが、課題解決によって新たな価 値を創造し、利益創出、社会貢献を実現





することが重要と認識が変化。ガーナでのインターンシップに参加しました。 現地では体調不良に陥ったことから、ガーナの生活全般のデータを徹底的に分析。食生活でのタンパク質の欠乏を突き止め、現地の大豆を使って豆腐スイーツを販売したところ、好評を得ました。こうした現場での課題発見と分析、実装というプロセスを実践できたこと、現地の課題解決に持続可能な提案ができたことは大きな収穫となりました。

大学生活を充実させ、 最適な選択を

ガーナでの経験を機に、世界の暮らしを 豊かにするという目標ができました。その ためには、まず栄養問題を解決する食材 開発やその拡販などを、オーナーシップ を持って大規模に創出できる商社を志望。 三井物産に惹かれ、就職しました。現在 は全社員の業務のDX化と、デジタルに よる新規事業創出に取り組んでいます。 これからの時代は何事にもデジタルが不 可欠。大学時代の経験も活かし、目標達成 に必要な知見と能力を磨いていきます。 私は入学から卒業まで紆余曲折ありまし たが、今とても充実した生活を過ごせて います。なので、後輩や高校生のみなさん には将来や人生において、自分が輝ける 仕事や場を間違えずに選んでほしいと思 います。就職も会社ではなく、得意分野や 強みを活かせる職種で選ぶほうが、豊か な人生につながると私は考えています。 大学では専門以外の領域も学びつつ、学 外活動やアルバイトなどもいろいろチャ レンジすることをおすすめします。そうす れば自分が最も輝けるもの・ことがわかり、 最適な選択ができるはずです。

Profile

大津市立真野小学校

青谷 紘子さん

滋賀県出身。2019年3月滋賀大学教育学部学校教育教員養成課程初等教育コース(初等教科専攻図画工作専修)卒業。同年4月草津市立笠縫東小学校、2022年3月大津市立真野小学校着任。現在は4年生を担任。中学・高校時代は陸上部に所属していたが、大学では「新しいチャレンジを」と漕艇(ボート)部に入部。学業と並行して週5日の厳しい練習に打ち込み、大会でも好成績を収める。

図画工作を通じて、児童の心と 人生に必要な要素を育んでいきたい

豊かな感情も社会性も 育成する図画工作

私はモノ作りが好きで、その魅力を子どもたちに伝えたいと思い、初等教育コースの図画工作を専修しました。教師になって授業で心がけていることは、ゼミの藤田昌宏教授の教えである「まず教師が図画工作の教材、作る、描くことを楽しむこと」です。単に作り方、描き方を教えるのではなく、どこが楽しいのかを伝え、私も一緒に描く、作るようにすると、児童も夢中になって取り組んでくれます。図画工作が得意ではない児童が「もう1枚描きたい、もっと作りたい」と言ってくれると、うれしいですね。

図画工作は自分の感情や思考といった 内面をアウトプットする作業でもあり、児 童が恥ずかしさや拒否・拒絶感を抱かな いよう、自由に、安心して表現できる環境・ 雰囲気をつくり出し、一人ひとりに応じた 言葉をかけることも私の使命だと思って います。また、グループやクラスでの共同 制作は、コミュニケーションや役割分担、助け合いが必要。そういった意味では図画工作は社会性や協調性、人間性なども養う重要な科目であることも意識して、授業に取り組んでいます。

子どもとの関わり方の 大切さを学んだ学外活動

滋賀大学は専攻以外の科目も学べるので、特別支援教育に関する科目を履修し、 特別支援学校教諭1種免許状も取得しました。

在学中はスクールボランティアにも参加

しました。多動や不登校といった子どもたちに接したのですが、そういった行動にはその子なりの理由があることを痛感。頭ごなしに注意したりするのではなく、じっくり話を聴くこと、その子の成長に合わせて寄り添うことや、居場所や安心感をつくることなど、一人ひとりとの関わり方を学ぶことができました。



さまざまな活動での経験が 試験、教師としての糧に

大学生活では漕艇(ボート)部に所属し、練習や試合に打ち込みました。授業や実習との両立は大変な面もありましたが、毎日が充実していました。教師になった今、児童たちに部活動をはじめ、大学生活での経験を話すことがよくあります。教員をめざす後輩や高校生の方には、部活動やボランティアといった学外活動、アルバイトなどにも取り組んで、いろいろな経験を重ねてほしいと思います。滋賀大学教育学部には、そういった機会が数多くありますから。

教員採用試験合格に向けては、水泳やピアノといった実技も猛練習。教師経験が豊富で、教員採用試験の作成や面接官などを務めた実績も持つOB・OGの皆さんが個々に合わせて親身にサポートしてくださいます。私も小論文の添削、面接や模擬授業で指導いただいたおかげで、志望通り滋賀県の教員採用試験に合格することができました。ぜひ皆さんも、学校の先生になる夢を叶えてください。



西日本旅客鉄道株式会社

福田 奈央さん

Profile

石川県出身。2021年3月滋賀大学データサイエンス学部卒業。同年4月西日本旅客鉄道株式会社入社。 近畿統括本部京都信号通信技術センター湖西信号通信区に配属され、保守管理を担当。2022年6月 よりデジタルソリューション本部データアナリティクスに配属。ICカード乗車券やクレジットカード などのデータ分析と活用に取り組んでいる。在学中はラクロス部に所属し、リーグ戦にも出場。

「鉄道」のデータを利益創出に、 人びとの便利で豊かな暮らしに役立てたい

数値分析だけが データサイエンスではない

大学や将来を決めるにあたって、書籍を 読んだところ、これからの社会には「デー タサイエンス」というものが不可欠である と記載があり、興味を抱きました。それで 進学先を調べると、日本初のデータサイ エンス学部が滋賀大学に創設されると 知り、1期生になれることにも惹かれて入 学しました。

授業では、データサイエンスの理論、 Pythonをはじめとするプログラミング のスキルと共に、データをどう活用し、そ のためには何をすべきかを、実践演習に よって習得していきました。扱うデータも 連携企業などが収集蓄積した実データで、 先生やその企業の方と分析することも。 有用なデータにするには数値の意味と 切り口をコミュニケーションによって考 察・分析することが重要と実感しました。 その意識と能力は、今の仕事にも役立っ ています。

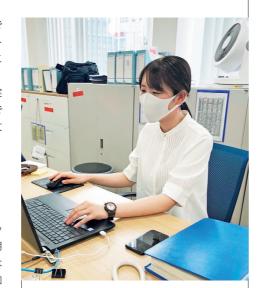
高校時代は文系で、入学前は理系科目へ

の不安もありましたが、先生は時間外で も質問に対応してくださり、クラスメイト の助けもあって、理解や知識を深めるこ とができました。

滋賀大学データサイエンス学部は、「実 体験」によって高い知見を養うことがで きます。サポートも手厚いので、理系・文 系に関わらず、入学をおすすめします。

社会や企業が求める よりリアルなデータを分析

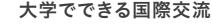
3回生からは河本ゼミに所属し、プロサッ カーチームの戦術分析をはじめ、より実用 的なデータを分析。インターンシップでは 機械メーカーの製造ラインの異常検知 に取り組みました。分析にあたって、サッ カーや機械工学について携わる方にヒア リングを行うことで、深い知識を得て、分 析、精度を高めることができました。こう いったデータサイエンスにおけるコミュ ニケーションの重要性を実感する数々の 経験と、企業で活躍されていた河本先生 のお話も通じて、卒業後は、企業の課題



解決や利益追求と、社会や人びとの生活 にデータサイエンスで役立ちたいと決意。 鉄道を軸に幅広い事業を展開するIR西 日本に就職しました。

お客様と会社のための データ活用方法は無限大

所属するデジタルソリューション本部は 設立間もない部署ですが、滋賀大学入学 時と同じく、未開の地を開拓していくよう な気持ちで業務に取り組んでいます。JR 西日本にはICカード乗車券やクレジット カード、MaaS (Mobility as a Service) アプリケーションなど、価値あるデータ が膨大に蓄積されています。例えば、移 動経路や訪問先、物品などの購入履歴な どを分析すれば、運営する商業施設の マーケティングやより利便性の高いサー ビスの提供に活用できます。どう分析し、 有用なデータとして実装するか、上司や 先輩、関係部署・機関の方と密に連携し ながらプロジェクトを実現し、会社にも お客様にも貢献することが目標です。



世界とつながり、 学ぶために

大学生活の目標に、海外での学びを掲げる人は少なくないはずです。 本格的な海外留学の再開に向けて、教員と学生に国際交流の取り組みを聞きました。 また、留学体験者からのレポートもお届けします。

国際交流機構

春に留学説明会を実施 日常的に相談の対応も

田村 あずみ 准教授



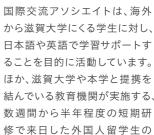
2017年~2019年度は年平均で交換留学は12大学に65名、受 け入れは152名でした。コロナ禍で大きな打撃を受け、2022年度 も夏季休暇中の短期研修プログラムは中止に。交換留学は1名 がオランダのゾイド大学に旅立ちました。受け入れ留学生は120 名(5月1日現在)と、まだまだ回復にはいたりませんが、海外お よび国内の規制緩和などの状況を鑑みて、従来の水準で実施で きるよう取り組みを進めています。4月と5月には留学説明会を 開催。留学の本格再開に備え、今から自分の興味関心にあった 留学の形を考えておくことや、就職活動や単位取得との兼ね合い を考慮して留学計画を立てることなどを指導しました。普段は 教員がオフィスアワーを設け、国際交流課で個別の留学相談を 受け付けています。

今後は、JCMU(ミシガン州立大学連合日本センター)やCIEE (国際教育交換協議会)京都といった他機関との連携プログラ ムによって来日している留学生と、本学学生の交流イベントなど を実施予定です。

国際交流アソシエイト

グローバルセミナーで 国際的な議題に関心を

楠本 涼瑛 経済学部 明星高校(大阪府)





学習アシスタントや交流プログラムの企画運営も行っています。 また月に1、2回、さまざまな領域で活躍されている方にお話しい ただく「グローバルセミナー」を、国際交流機構と共催しています。 今年度もJICA滋賀デスクの桂武邦さんや、フィンランドセンター 所長のアンナ=マリア・ウィルヤネンさんをお迎えして実施しま した。海外留学では国際問題、国際関係など幅広い話題で議論 が行われ、自分の意見を持つことが求められます。セミナーが知 識を吸収したり、国際情勢に興味を持つきっかけになればと思 います。アソシエイトは国際交流課が運営している団体で、滋賀 大生で国際に興味があれば誰でも参加できます。アソシエイト への参加をお待ちしています!

体験記

異文化理解・コミュニケーションを学びに 交換留学で1年間オランダへ

藤原 直樹 教育学部 槻の木高校(大阪府)

将来、グローバルな仕事をしたいと留学を 決意しました。準備でいちばん注力したの は、やはり英語の勉強です。1日30分の英 会話学習と大学のAcademic Express 3に あるリスニング、リーディング、ライティング のパートを毎日欠かさず取り組みました。 また、留学の実現に向けてモチベーション を保つことも必要だと感じます。

留学先では、オランダ人学生4名と取り組 んだプロジェクトワークが印象に残ってい ます。国民性の違いからチーム内での対立 も経験しましたが、最後には全員が納得す る形で終えることができました。こういった "日本とは違う考え方"を得られたのは大き な収穫となりました。



プロジェクトメンバーとの記念写真



ニュース & トピックス

ウクライナを知り、 支援する取り組みを推進

2022年2月のロシアによるウクライナ侵攻に対し、3月に滋賀大学は平和的解決を求める声明を発表しました。 また、ウクライナを支援する取り組みを行っています。



ノビ・ソンチ市立図書館の日本の絵本コーナーにて

■ ウクライナ避難民の子どもたちへの「絵本プロジェクト」

ポーランドへ逃れたウクライナ避難民の子ど もたちに日本の絵本をおくる「絵本プロジェク ト | を、京都信用金庫とともに実施。3月28日 ~4月15日に、同金庫本支店をはじめとする 85拠点で絵本とメッセージを受け付けました。 4月28日に行われた記者会見では、産学公 連携推進機構の近兼敏客員教授が活動と今 後の展開について説明したほか、ポーランド

で避難民の支援活動を行う坂本龍太朗さん が、オンラインで現地の様子などを報告しま

今回集まった絵本は約750冊。3ヵ月かけて ウクライナの子どもたちの避難先に送られ. その1つであるポーランド共和国のノビ・ソン チ市立図書館には日本の絵本コーナーが設置 されました。



オンラインでの打ち合わせの様子

■ 絵本「へいわって どんなこと?」をウクライナ語で配信

ウクライナのドニプロ国立大学で日本語を学 ぶ学生3名と本学の学生6名が、絵本「へいわ って どんなこと?」(浜田桂子作、童心社)の ウクライナ語翻訳と、YouTubeによる読み聞 かせ配信を行いました。

4月にオンラインで2大学が打ち合わせをした 際には、絵本の作者である浜田さんも参加し、 浜田さんやドニプロ国立大学の学生たちから

話を聞きました。その後、3つのグループに分 かれて翻訳作業を行い、5月にYouTubeで 公開した動画は、6月末終了を延長し、9月30 日まで配信。また8月にはロシア語翻訳も完 成し、配信を始めました。翻訳活動に参加し た学生らが、彦根市内の中学校で今回の経 験を語るなど、学内だけでなく地域において も、平和について考える機会となりました。



受け入れに伴う記者会見の様子

■ ウクライナから避難学生2名の留学を受け入れ

絵本「へいわって どんなこと?」のウクライナ 語翻訳、読み聞かせプロジェクトに参加した ウクライナの学生のうち、本学への留学を希 望したアンナ・プチェロボドヴァさんと、カテ リーナ・イグナトバさんを受け入れました。 ウクライナで暮らす人たちに、少しでも心穏や かな時間を過ごしてほしいと、本学では茶道 や華道、禅といった日本の文化をウクライナ

語で紹介する動画制作プロジェクトを進行 (下のQR)。この制作に二人も参加しました。 二人は経済学部の研究生として、日本語や経 済学を学び、大学院への進学をめざします。





茶道



ウクライナ支援募金ご協力のお願い

本学では今後も、ウクライナからの避難学生の受け入れを進めるなど、より直接的な支援に取り組んでいきます。 現在、活動支援への募金を受付けています。詳細は大学ホームページからご確認ください。



ウクライナ支援募金の詳細はこちら

【教育学部】

■「おとさぽ」アールブリュット展「Quintet! vol.2」開催

教育学部附属音楽教育支援センター「おとさ ぽ」が、独創的なアート作品を生み出し続ける アートセンター&福祉施設「やまなみ工房」の 作家5名の展覧会「やまなみ×おとさぽアール ブリュット展Quintet! vol.2 を開催しました。 やまなみ工房は、甲賀市にある世界的なアー ルブリュットの工房で、この福祉事業所に通う

約90名はアーティストとして個性あふれる 作品を生み出し、国内外で高い評価を受けて います。

本展では5名による作品を、作家の個性を含 め紹介。アートとして楽しめるだけではなく、 多様性を尊重する社会について考える機会 となりました。



■3年ぶりに学内レガッタ大会を開催

関西みらいローイングセンター(滋賀県立琵琶湖漕艇場)にて、第70回学内レガッタ大会が行われました。本行事は、瀬田川の近くに立地している教育学 部ならではの行事です。昨年度、一昨年度は新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが、今年度は感染症対策を徹底し、3年ぶりに開催することが できました。当日は教育学部生50名ほどが参加し、漕艇部の掛け声に合わせて、一生懸命船を漕いでいました。

【経済学部】

■学生発案の「思わず欲しくなる自助具」完成発表会 開催

春学期授業「プロジェクトB(モノづくりプロ 具の使い方も学びました。また、実際にモノ ジェクト2022春 『思わず欲しくなる自助具 を作ろう』)」では、ひこね自助具開発工房の 協力を得て、自助具※の構想から制作までの 一貫した授業プログラムを行いました。学生 同士の共同作業だけでなく、モノづくりの発 想やデザインの意味について考え、工作用道

づくりをすることで、自身のもつ身体感覚を 再確認することをねらいとしています。完成 発表会では、片手でも開けられるボトルキャッ プオープナー、目の不自由な方も遊べる木製 遊具など学生が制作した自助具が披露され



■経済学部と(一社)生命保険協会が教育連携開始-秋学期に寄付講座を開講-

経済学部と一般社団法人生命保険協会は、金融リテラシー向上や保険業界の実務的な知識を習得した人材育成を目的とし、寄付講座の開講に関する覚 書を締結しました。関西では本学経済学部が初の連携となります。今回の連携において、保険市場における理論と実践に精通する実務家教員による専門 科目を新たに開講。カリキュラムの一層の充実を図り、18歳成人となった今後の社会で必要とされる知識・考え方の習得をめざします。

【データサイエンス学部】

■VRで高齢者交通事故分析し、歩行者の挙動をデータ化

VR(仮想現実)を使った高齢歩行者の挙動 分析を試みています。

高齢者らに車が走り抜ける道路での横断を VRで体験してもらい、横断時の体の動きを

歩行中の高齢者が事故に遭う原因を突き止 データとして集め分析し、なぜ高齢者が多くの めるため、データサイエンス学部・川井明准 事故に遭うのか、原因の究明に挑んでいます。 教授のゼミでは、滋賀県警などと協力して EBPM(証拠に基づく政策立案)の視点を取 り入れ、高齢歩行者の事故の減少に向けた 対策の高度化につながる取り組みです。



■近江テック・アカデミーの執行役員にデータサイエンス研究科学生が就任

彦根商工会議所、彦根市、滋賀大学、地元企業や金融機関によるコンソーシアム「近江テック・アカデミー株式会社」でのインターンシップをきっかけに、 データサイエンス研究科の上野義博さんが同社執行役員に就任。彦根市中央町にあるテレワークオフィス「INSPILAKE」の運営を学生主導で行っています。 今後は、地域ジュニアに対する統計教育講座や、地域事業所に対するDX導入支援も予定。「連携をより深いものにしていきたい」と上野さんは語ります。

※自助具とは、何らかの障害や病気などによる麻痺、加齢による身体機能の低下などを原因とする動作の不自由を補うための道具や装置のこと

17 SHIGA UNIVERSITY Public information magazine 18

【制作】学生広報サポートチーム 【デザイン】谷村真菜 / 平下怜良 / 大泉まどか / 佐山結香 / 福田渓華 【メンバー】大泉まどか / 小村悠祐 / 小林正章 / 佐山結香 / 菅沼祐大 / 島津心暖 / 高槻官汰 / 當麻友規 / 谷村真菜 / 平下怜良 / 福田渓華 / 室井愛純



データサイエンス学部

4回生 徳永一輝 さん

私が高校生の時、滋賀大学に日本初のデータサイ エンス学部が誕生しました。学部の目新しさと、高校 でプログラミングを学んだ経験を活かせる入試に魅 力を感じ、滋賀大を志望しました。彦根キャンパスで

9:00 起床 支度·朝食 18:00 帰宅 10:00 ゼミの友だち 通学 と晩御飯 10:30 19:30 バイト (プログラミング) 12:00 友だちと おしゃべり& 昼食(食堂) ゲーム 12:50 3限(ゼミ) 23:00 14:20 皿洗い・入浴 ゼミの友だち 24:00 就寝 と勉強

は、経済学部とデータサイエン ス学部が共に学んでいます。 学部の垣根を越えて、興味あ る分野を勉強できるのが魅力 です。私は会計の大切さや社 会保険など、実生活に役立つ 知識を経済学部の授業で学 びました。データサイエンス学 部の授業はグループワークが 多く、人間関係が密になります。 ゼミでは、帝国データバンクの 共同開発補助に携わってい ます。データサイエンス学部生 ならではの貴重な経験です。

twitter・Instagram・noteで も情報を発信しています! twitter



経済学部 社会システム学科 3回生 山岡ひのきさん



滋賀大学経済学部では、行政・法律・会計など いろいろな角度から経済について学ぶことができ ます。経済の理論を学ぶだけでなく、実社会でどう 活用されているかも学べます。私は今年度から



滋賀大学に編入しました。前の大学で得た統計や経済データ分析の知見を活かし、更に学びを深め たいと思ったのが、滋賀大学を志望した理由です。滋賀大学に入って良かったのは、学生同士のつな がり、学生と卒業生とのつながりが密接なことです。同じゼミに所属する学生と勉強会を開いたり、プレ ゼンの練習をしたりして切磋琢磨しています。現役滋賀大生と卒業生の交流を促進するNext Ryosui の代表を務める中で、滋賀大学と真摯に向き合ってくださる卒業生とのつながりも生まれています。

教育学部障害児教育専攻 2回生 田中結子羽 さん

昔から絶対に子どもと関わる職業に就きたいと思っていました。私が滋賀 大学教育学部を選んだきっかけは、人生を変えてくれた塾の先生が「ゆず はちゃん、滋賀大行ったらどう? ゆずはちゃんなら行けると思う」と言って くれたことです。そこから滋賀大学について詳しく調べてみると、自分の 興味のあったインクルーシブ教育が専門的に学べると分かり、滋賀大学 教育学部を受験しました。1回生のうちからリアルな教育現場を見ることが できるので、魅力的だと感じています。教育学部に入って、特別支援教育を 専門的に学んでおり、やりたいことが勉強できているため、充実した大学 生活を送っています。



データサイエンス学部 1回生 赤坂悠生 さん

滋賀大学データサイエンス学部は、自分の好きな分野である数学を活かし、 自分の学びたい経済にまつわることができるという点に魅力を感じ、志望 しました。ここでは、データサイエンスにまつわることができるのが楽しい です。春学期の授業は、24単位中必修の授業が22単位なので、同じ学部 の友だちと長い時間一緒に学ぶことになります。また、専門の科目は、同じ

学部の学生100名くらいが一斉に同じ授業を受ける ため、いろいろな人と知り合えることが魅力的に感じて います。データサイエンス学部はみんな仲が良く、得意 な人が得意な分野を教え合うような形で学習に取り 組んでいます。I限目の前や昼休みなどの空き時間 に友だちと話すなど、授業外でも交流があります。



経済学部経済学科 1回生 木田直歩 さん

※2023年度より、5学科を「総合経済学科」に統合し、 3回生准級時に3車攻から選択に改組。



滋賀大学経済学部は、5つの学科※で構成されており、国立大学の中で 最大規模の経済学部であることから、滋賀大学経済学部を選びました。 経済の伝統校であったことも志望した理由です。

経済学部では、授業だけではなく、部活動やアルバイトといった、さまざまな ことに挑戦しており、充実した学生生活を送っています。経済学部の授業

> でマーケティングについて学ぶのですが、その授業が楽 しく感じています。滋賀大学経済学部の学生は穏やかな 人が多く、すぐに仲良くなることができました。また、下宿 をしているのですが、周りの地域も穏やかで、すぐに馴 染むことができました。全体として、滋賀大学は過ごし やすい環境であると感じています。

教育学部 1回生青木ー樹 さん

滋賀大学を選んだ理由は、教員免許状が取れ、同じ教員になりたい仲間 と切磋琢磨できると思ったからです。中等社会科教員免許状の取得を考 えています。小学生の頃に、先生が寸劇を交えて授業をしてくださったこと で、歴史が好きになったことがきっかけです。そのため、すべての社会科 の授業が楽しみです。また国立大学であることや駅からバスの距離が近く 交通の便がいいことも決め手になりました。

入学して良かったと感じることは、学生も先生もいい 人が多いことです。友人がすぐにできて、とても人 に恵まれました。課題を友人とするのは楽しいです。 体育の授業では、このような仲間たちとスポーツを 行うことが楽しいです。



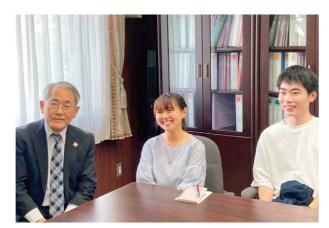
19 SHIGA UNIVERSITY Public information magazine 20

彦根キャンパスの"今"を キャッチーに伝える

▶▶彦根キャンパス

滋賀大学陵水新聞会

陵水新聞会では主に、本学で起こったことを毎月取り上げる『滋賀大学陵水新聞』と、さまざまなサークル・部活動やキャンパスの情報をまとめた不定期のミニ新聞『りょうすい』の発行をしています。その他、地域の方と協力して記事を書いたり、本学での学生生活をSNSで発信したりといったことも定期的に行っています。大学の情報をまとめることのほかに、さまざまな紙面企画を行うことも活動の一つです。企画は部員の「やりたい」「おもしろそう」から始まり、キャッチーで読みやすいものを心がけています。現在は学生や彦根のおすすめスポットを紹介するコーナーや、各部員が未経験のことにチャレンジする企画などを取り扱っています。陵水新聞会の新聞は、取材に応じてくださる人がいてはじめて完成します。会外の人とのつながりが必要不可欠な活動ばかりです。支えてくださるみなさんに感謝を忘れず、これからも多様な取材を行い、誰かの興味や関心につながるポジティブな記事を作成して



竹村彰通学長へのインタビューの様子(上) 『滋賀大学陵水新聞』制作は部員で手分けをして進めます(右)

- こちらで記事が読めます
- ●毎月発行『滋賀大学陵水新聞』
- ●不定期発行のミニ新聞はTwitterで閲覧可能です (Twitterアカウント @ryousuipress)
- ■滋賀大学陵水新聞、ミニ新聞は Facebook(右下のQR)で閲覧可能です

滋賀大学陵水新聞 Facebook



工夫をこらして 春と秋の学園祭を盛り上げる

▶▶大津キャンパス

学園祭実行委員会

学園祭がより良いものになるように、さまざまな活動をしています。ミニゲームの作成、チラシやパンフレットの作成、スポンサー集めなどの活動を行っています。また、学園祭実行委員会の運動会などを開催して、学園祭実行委員の親睦を深めたりしています。6月26日には春の学園祭を開催しました。準備や当日運営を手伝ってくださった方々、ありがとうございます。春の学園祭は、約3年ぶりの開催となったため、過去に学園祭を運営したことのある人がほとんどおらず、準備の段階でさまざまな問題がありましたが、みんなで協力し合い、たくさんの方々に来てもらい、すばらしいものになりました。秋の学園祭は11月12日(土)・13日(日)の2日間開催することに決まりました!春の学園祭の成功点、反省点を活かして、秋の学園祭は、さらにパワーアップした姿を見せられるように一生懸命頑張りますので、ご協力よろしくお願いします。また、ぜひ当日参加して、皆さんで楽しい学園祭にしましょう!



過去の秋の学園祭の様子



学祭運動会で親睦を深めました

Pick up CLUB & CIRCLE

部活・サークル活動、 自治会活動など、多彩な団体の中から 今回は4団体をご紹介します。

関西選手権で男女ともに入賞!

▶▶彦根キャンパス

いきたいと思います。

漕艇部

漕艇部では、現在選手24名、舵手4名、スタッフ9名の計37名で活動しており、監督やOBコーチ、外部コーチをはじめとする沢山の方々のご指導、ご支援のもと、学生が主体となり日々の練習に取り組んでいます。部の目標としては、1年間の集大成でもある、全日本大学選手権(インカレ)優勝。個人の勝利というだけでなく、チームとして部員が一丸となって、意見を交換し合い、お互いに競争し合うことで、部としてのレベルアップを図っています。昨年は女子ペア種目でインカレ3位という快挙を成し遂げ、これに続きさらに高みをめざし、日々努力しています。

私たちの部の強みは、やはり琵琶湖で漕ぐことができること。これも琵琶湖のすぐ近くにキャンパスがある滋賀大ならではです。広大な水の上で風を切って進んでいくのはとても気持ちがいいです!ボートはほとんどが大学からの初心者。部員みんな仲が良く和気あいあいとしているので少しでもボートが気になったら気軽に遊びに来てください!



琵琶湖で練習ができるのは漕艇部の自慢の一つ

今シーズンの成績

4月 第7回西日本選手権 女子ペア2位

5月 第73回朝日レガッタ 男子舵手付きフォア3位

7月 関西選手権競漕大会 男子舵手付きフォア優勝/女子ペア3位

9月 全日本大学選手権大会(インカレ) 男子舵手付きフォア C決勝2位/女子シングル C決勝2位

異文化交流の輪を学外にも拡大

▶▶大津キャンパス

国際交流サークル(CIS)

さまざまなイベントを開催したり、外部のイベントに参加させていただくことで、滋賀大学の留学生の皆さんを中心に交流の輪を広めていくことを目的に活動しています。普段は週に1回のミーティングと、月に1回程度のイベントを実施しています。今後は、彦根キャンパスや他大学ともつながっていくことをめざすとともに、留学生が「滋賀大学に来て良かった」と思える思い出作りを行っていきます。留学生はもちろん、他大学や他の団体の方とも交流する機会があり、国や大学を超えた交友の幅を広げられることが大きな魅力の一つです。サークルをきっかけとして、留学生やさまざまな方と仲良くなり、異文化を知る楽しさや日本の文化を伝える楽しさを実感することができます。部員が希望するイベントを中心に企画を行うことも多いので、遊びだけではなく、ちょっとした講演会など、自身の興味を深めることもできます。また、基本的にイベントやミーティングの参加は自由なので、兼部などもしやすいです。



イベントを開催しサークルメンバー、留学生との親睦を深めます

活動について

■滋賀大学(大津・彦根)に来た留学生と交流会

- ●5月に歓迎会を兼ねた京都・嵐山の散策を実施
- ●外部の団体「就活ルーム tugumi」のイベント参加(小籠包づくり)
- ●11月の学園祭参加、ハロウィンパーティーなどのイベントを予定

21 SHIGA UNIVERSITY 22